



植物成長調整剤による コショウランの品質向上技術を開発

— GA処理で花茎を伸ばし、BA処理で花数を増やします —

開発の背景・ニーズ

コショウラン栽培では、様々な仕立てに対応できる長い花茎や、花数の多い高品質な鉢物生産技術が求められています。このため、植物成長調整剤を用いて、これらの品質を向上させる技術の開発に取り組みました。

成果の内容

- 濃度100ppmのGA（ジベレリン）溶液を、長さ5～20mmの花茎に1週間おきに2回散布すると、花茎長を6～7cm伸ばす効果がありました。
- 濃度30ppmのBA（ベンジルアデニン）溶液を、蕾が6～7個付いた花茎の先端に1週間おきに10回処理すると、花数が11.7輪増え、21.5輪付きました。

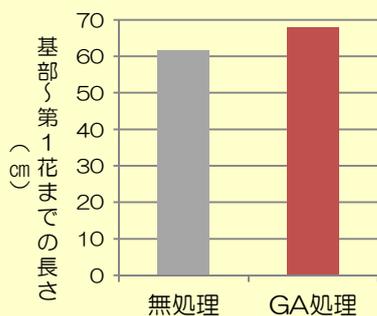


図1 GA処理がコショウランの花茎の長さに及ぼす影響



図2 BA処理がコショウランの花数に及ぼす影響

愛知県農業への貢献

この植物成長調整剤を用いた品質向上技術により、比較的簡易に高品質な鉢物生産が可能となります。さらに、生産農家の所得向上につながり、日本一の洋らん産地の維持強化に大きく貢献するものとして期待できます。

※コショウラン栽培におけるGA処理およびBA処理は、今後農薬登録を目指します。

【本研究は、農林水産省委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発」により実施しました】